

まさき議会だより

No.122

2024年8月1日発行

6月定例会

第8分団消防詰所



(令和6年5月 撮影)

P 2 町民の皆さんの声に(町長からの回答)

P 7 一般質問 **7人が町政を質す**

P11 消防団員に聞きました

松前町
議会中継
[録画]



町民の皆さんの声に(町長からの回答)

2月17日に開催した「松前町議会 議会報告&意見交換会」では、参加者から町に対する様々な要望が出されました。

多くの要望があったため、議会で検討して3点に絞り、回答を町長からいただきました。

なお、すべての要望を町長に提出し、今後の施策で実現されるよう願っています。



公約に掲げていた給食費無償化は？



小中学校の給食費無償化は、令和6年度の建設事業費の増加や食材費の高騰などで先延ばししましたが、令和7年度からの実施に向け検討しています。

野良猫・野良犬の対策強化は？



・野良猫

犬・猫不妊去勢手術費助成金については、飼犬や飼猫、地域猫一律で、2,300円の助成でしたが、令和4年度からは地域猫に限り4,000円に増額しています。

・野良犬

現在、野良犬の駆除方法は、動物愛護の観点から捕獲箱にえさを入れて捕獲する方法しかありません。捕獲を成功させるため、えさを替えたり、犬の習性や地域での情報をもとに、有効な場所に捕獲箱を設置したりするなど、工夫しているところです。

また、重信川野犬対策検討会や動物愛護行政事務担当者会に定期的に参加し、国、県、他市町との情報交換を行い、対策の検討を続けています。

野良犬の駆除は、周辺住民の皆さんの協力が重要です。一部の方がえさをやったり、捕獲箱の設置を拒まれたりするとなかなか駆除できません。今後ともご理解ご協力のほどお願いします。



松前で育った子どもたちが、松前に帰ってきたいと思えるような環境づくりは？

- 1 雇用の確保(雇用の場を作る)
- 2 おむつ代補助の強化
- 3 松前独自の教育
 - (1)防災教育
 - (2)教育の充実
- 4 調整区域の見直しに対する町長の考え





1 雇用の確保

町としては、人口減少を食い止め、雇用の場を増やすため、南黒田工業団地の整備事業を行っています。今年度、立地企業の募集・選考を行い、令和10年度に立地企業に土地を引き渡す予定で事業を進めています。

また、附属機関である中小企業振興審議会の意見を踏まえながら、既存企業の労働環境改善や人材確保の取組に対する支援を行うなど、雇用の創出促進に取り組んでいきたいと考えています。

2 おむつ代補助の強化

出産を希望する方が安心して子どもを産み育てることができる環境を整備するため、平成29年度から第2子以降の乳児を対象に愛媛県と連携して「愛顔っ子応援券（5万円のおむつ購入券）」の交付を始めました。

これに加え、令和6年度からは町独自の事業として、これまで助成対象外であった第1子の乳児も対象に加えました。

今後も、安心して子育てができる環境づくりに努めます。



3 (1) 防災教育

小中学校では、例年3月に防災給食を提供し、児童・生徒の皆さんに防災について学んでいただくとともに、栄養教諭が作成した給食だよりに防災備蓄品のローリングストックの考え方を掲載するなど、防災に関心を持てるような取組を行っています。

また、要望のあった中学校には、総合学習として防災授業（講座）を実施しています。

災害や防災について理解し命を守る行動につなげる防災教育は、非常に重要であると考えており、町内各小中学校において、避難訓練やシェイクアウト訓練を実施するとともに防災講座を開くなど、様々な機会を設けて防災教育を行っています。

学校では、授業時間数が限られているため、今以上に防災についての授業時間を増やすことは難しいことから、分かりやすい教材を使ったり、専門家を招いたりするなど、限られた時間でできるだけ効率的・効果的な授業となるよう努めていきたいと思っています。



3 (2) 教育の充実

学校における教育や活動を実りあるものとするためには、教員、保護者、地域の皆さまのご協力が欠かせないと考えています。現在も松前町独自の教育として、学校行事等の特別活動や、地域の方や専門家などを講師としてお迎えしての「名人さんに学ぼう」や「米作り」など、学校や地域の皆さまとの連携や協力を図りながら、学校活動を充実させていきたいと考えています。

また、学校に来られないお子さんや、学級に入りづらいお子さんなどへの支援についても、校内のサポートルームの設置など、力を入れていきたいと考えています。

4 調整区域の見直しに対する町長の考え

市街化区域の拡大については、将来の人口減少が想定されている状況で、新たに住宅用地を求める方については、現在の市街化区域内で収容が可能であるとの見解が愛媛県から示されています。

しかしながら、住宅用地の確保が必要と判断した場合には、町で定めることができる地区計画を活用し、住宅用地への可能性を検討したいと思っています。

松前町中小企業振興基本条例の制定

議案第42号の審査

問 第7条(大企業者の役割)があるが、第3条(基本理念)には大企業者がいない。
町を挙げて中小企業の振興をしていくのであれば、大企業者も第3条(基本理念)に入れる必要があるのでは。

答 その点について検討したい。

検討した結果、この議案を撤回し、
提言を取り入れた議案を提出

新たに議案第52号として審査

第52号(新)	第42号(旧)
(基本理念) 第3条 4 中小企業の振興は、国、県、町、中小企業関係団体、金融機関等及び学校の相互連携並びに 大企業者及び 町民の協力を基本として、推進されなければならない。	(基本理念) 第3条 4 中小企業の振興は、国、県、町、中小企業関係団体、金融機関等及び学校の相互連携並びに町民の協力を基本として、推進されなければならない。
(大企業者の役割) 第7条 修正なし	(大企業者の役割) 第7条 大企業者は、その事業活動を通じ、中小企業者の振興に協力するよう努めるものとする。



総務産業 建設 文教厚生

町民の皆さんの後押しができる政策を

その他の議案

- ・ 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
- ・ 税条例の一部改正
- ・ 議決事項の一部変更
- ・ 下水道条例の一部改正
- ・ 水道事業管理者の資格に関する条例の一部改正

中小企業振興資金融資条例の制定

- 目 的 … 中小企業振興資金融資制度の創設
町内中小企業者の事業経営に必要な資金の融通の円滑化
中小企業の振興と町経済の活性化
- 資金の使途 … 運転資金又は設備資金
- 融資額の上限 … 500万円
- 融資期間 … 60月以内

町有地の売却



問 売却後、土地の利用方法が変更されないよう規定しているか。

答 売買契約締結の日から10年間は、特別養護老人ホーム鶴寿荘とケアハウスひまわり苑の用地以外の用途に供してはならないと規定している。

松前町立認定こども園 条例の制定



問 開園時間が松前町立保育所条例と異なるのはなぜか。

答 保護者の選択肢の幅を広げるという観点から異なる開園時間としているほか、閉園時間についても保護者の利便性を考慮している。

令和6年度一般会計補正予算(1回目)

8億8212万円を増額

予算決算

補正予算を
チェック①

旧南黒田公民館の解体補助

97万円



問 地元負担は。

答 地元負担あり。補助は事業費の2分の1、上限100万円。

消防団員の難燃性冷却ベスト等

215万円



問 ファン内蔵のベストの方がよいのでは。

答 ベストの上に防火服を着用するため体に密着する冷却ベストにした。

松前幼稚園整備の追加計上

1950万円



問 設計段階の昨年11月には価格高騰の時期ではなかったか。

答 設計完了が3月末。半年近く経過したため、資材価格等上昇の影響を受けた。

児童手当制度の拡充

9918万円

令和6年10月分からの拡充内容※

- ①所得制限なし
- ②高校生まで支給
- ③第3子以降、月額3万円
- ④支給回数、年3回から年6回(偶数月)へ

※初回支給は令和6年12月

南黒田工業団地の整備

9875万円



南黒田工業団地までの道路整備(案)

※完成イメージ

「生きる喜びあふれるまちまさき」を推進

定額減税補足給付金

2億7720万円

定額減税で減税しきれないと見込まれる方に対し、定額減税しきれない差額分を補足

住民税非課税世帯等臨時特別給付金

5300万円

令和6年度新たに住民税が非課税となる世帯

- ①1世帯当たり10万円
- ②18歳以下の子ども一人当たり5万円

住民税均等割世帯臨時特別給付金

1200万円

令和6年度新たに住民税均等割のみ課税となる世帯

- ①1世帯当たり10万円
- ②18歳以下の子ども一人当たり5万円

その他の補正予算

国民健康保険特別会計	△65万円
後期高齢者医療特別会計	687万円
介護保険特別会計 保険事業	△16万円
介護サービス事業	5万円

△は減額

橋りょうの延命化

5300万円



問 例年よりも設計金額が上がっているが。
答 二級河川に架かる橋長が長い橋を予定している。

予防接種健康被害給付金

4441万円

新型コロナワクチン接種による健康被害が認定された方に対して死亡一時金等の給付

問 なぜ認定に3年もかかったのか。
答 町では速やかに被害救済委員会で審査し、県を通じて申請したが、国の審査待ちであったため。

予算決算

補正予算を
チェック②

すべて慎重に審議し、
いずれも可決しました。



報 告

○令和5年度一般会計から令和6年度へ

6億3050万円を繰越

○令和5年度水道事業会計から令和6年度へ

14億5947万円を繰越

令和6年度の当初補助事業の予算削減が予想され、事業に係る予算措置を前倒しで行ったため

○令和5年度下水道事業会計から令和6年度へ

6550万円を繰越

○令和5事業年度松前町土地開発公社収支決算

資産6731万円

負債5264万円 資本1467万円

専 決 処 分

○松前町税条例の一部改正

- ・個人住民税の定額減税など

○松前町国民健康保険税条例の一部改正

- ・課税限度額の引上げ及び5割軽減・2割軽減の基準額の見直し

一般会計繰越の主なもの

- ・江川住宅外壁改修工事 9700万円
- ・松前駅前広場整備用地買収 3990万円
- ・塩屋排水機場遊水池改良工事 3491万円
- ・町道筒井徳丸線舗装補修工事 3100万円

一般質問



※すべての質問を掲載しているわけではありません。
詳しく知りたい方は、QRコードを読み取り、録画中継をご覧ください。



之松 知重
議員 議長



パワハラ対策と休職者
に対するケアは

風土づくりや
個に寄り添って

問

役場内でのパワハラ対策と休職者に対するケアは。

答

内部相談が3件あったが、パワハラ認定した案件はない。組織全体でハラスメントのない風土づくりに取り組んでいきたい。病気休職中の職員は2人いるが、どちらもパワハラに起因する病気休職ではない。休職に至った要因や経緯がそれぞれ異なることから、職員個々の状況に寄り添いながら復職に向けたケアを行っている。

小学生の登下校時の
防犯対策は

死角となる場所に
防犯カメラを設置予定

問

小学校や登下校ルートでの防犯カメラの設置状況は。

答

北伊予小は3台、岡田小1台、松前小3台防犯カメラを設置している。

登下校ルートでは、通学路が町内広範囲にわたるため、教育委員会では設置していない。まずは、死角となる場所に伊予署と連携して防犯カメラを設置する予定である。

子どもたちを地域で育てるという観点から、学校や地域が協力して子どもたちを見守る松前町にしていきたい。



事業の目的の設定は

数値で測れるようなもので

問 「はだかむぎゅ」の製造・販売は中止になったのか。**答** 事業採算性の確保が困難になったことから、令和5年10月に販売中止に至ったと聞いている。**問** 「はだか麦メニュー」を提供するフェア」は何回実施したのか。**答** 東京で2回実施した。**問** この事業の目的は。**答** はだか麦の消費拡大を図ること、松前町の認知度拡大に寄与することである。曾我部 秀司
議員

住民の福祉の増進を図ることを事業の目的とすべき。その目的を職員全員で共有し、事業を進めていただきたい。

**問** 「はだか麦プロジェクト」における一定の成果とは。**答** 松前町と言えば「はだか麦の町」というイメージが定着したことなどである。**問** この事業の目的は。**答** 地場産品の質の向上とブランド化など、魅力ある地域産業づくりを推進し、新たな産業の創出や6次産業化による雇用の創出である。**問** 事業の目的は、知名度向上や認知度向上でよいのか。**答** 事業の目的は、知名度というぼんやりとしたものではなく、数値で測れるようなものを設定すべきではないかと考える。町職員に対する
カスハラ対策は組織一団となり統一
した対応で臨むこと**問** 本町におけるカスタマーハラスメントの実態は。**答** 特定の職員に対し何十年も前の町行政の事務処理について、唐突かつ頻繁に面談・架電してくる者、町では対応できない無理な要求を繰り返し行う者などの事例がある。**問** これらの事例に対する具体的な予防対策や取組状況は。**答** な予防対策や取組状況は。藤岡 緑
議員

各種ハラスメント対策を講じ職員がその能力を十分に発揮できる職場環境を保持すれば、質の高い行政サービスが期待できる。

**答** 特定の職員や窓口対応した職員のみが悪質なクレーム対応をするのではなく、町職員が一丸となり対処する必要がある。そこで、不当要求に係る研修会を6月13日・14日の二日間で開催した。
今後は、組織で統一した対応で臨みカスハラによる職員の被害防止に努めたい。

プレミアム付商品券の発行は

補助金の追加があれば検討したい

問 近隣市町ではプレミアム付商品券を発行しているようだが本町での発行予定は。

答 地方創生臨時交付金の使途を検討する中で、物価高騰の影響が大きい低所得者の負担軽減支援や事業者の経営支援を議会の承認を得て実行したので、プレミアム付商品券の発行は行わなかった。今後、追加の臨時交付金等があれば、事業の実施について検討したい。



村井 慶太郎
議員



他市町に自慢できる松前町独自の事業を行うべき。

防災士のベストを夏用にしている

夏用の購入予定はない

問 防災士が着用しているベストについて、熱中症対策を兼ねた夏用ベストにする考えは。

答 反射素材で透湿性を考慮したビブス型ベストを配布している。防災士から現在のベストが暑いという意見は出ていないので夏用の購入は予定していない。今後、防災訓練等の機会を通じ防災士からの要望を聞く。



新築時の合併浄化槽補助の考え方は

時代に合った対応を行う

問 令和3年度から令和5年度の3年間、新築住宅への浄化槽設置費補助金が中止され、今年度から再開されたが、申請状況は。

答 6月10日現在で合計14件。

問 新築分の補助を廃止し、転換分のみ補助を継続した経緯は。

答 当時の考え方では、新築の場合、浄化槽法の規定で合併処理浄化槽の設置義務が課されていた。そのため、浄化槽設置を促進するという補助の目的がなくなっていることに加え、県の新築分の補助が廃止された。



加藤 博徳
議員



納税とその受けるサービスについては、フィフティーフティー、何らかの形で配慮を願う。

問 補助金中断期間の新築住宅への補助金の対応は。

答 過去の3年間についての補助金交付については、心情的に大変理解ができるところだが、補助事業は、年度ごとに公益性などの補助の必要性を勘案し、支給要件等を定めて実施するものである。当時は新築分の補助は廃止することが適当と判断したもので、過去の適当な判断に対しては覆すことは難しい。



空家の利活用は

町の実情に応じた対策を行う

問 様々な手法による空家利活用の取組が先進事例としてあるが、町独自に考えている対策は。

答 古民家を活用した町づくりを行っている「全国古民家再生協会」や、「全国空き家アドバイザー協議会」、「愛媛県宅地建物取引業協会」などと連携を図る。また、地域住民の交流の場としての活用や、災害発生時の避難場所や備蓄倉庫として活用など、幅広い視点で検討していくことが必要であると考えている。

今後は、連携を図る各団体の専門的な知識と経験を活かしながら、町の実情に応じた空家対策を進めていく。

池内 邦仁
議員

複合施設として早期実現を。

ホッケー公園
体育館新設の考えは

複合施設として整備を計画



問 体育館としてのみならず、災害対策等も考慮した施設に新設の考えはあるか。

答 ホッケー公園体育館は、町の指定避難所でもあるが、老朽化が著しいため、国の補助金や特別財源の獲得を視野に入れて検討を行い、バリアフリーの機能を有した複合施設として整備を計画していく。

要支援者の避難計画は

実行性のある個別避難計画の策定に努める

問 避難行動要支援者の個別避難計画の作成状況は。



答 令和6年1月末時点で2千832人の避難行動要支援者名簿を作成。そのうち、51人の個別避難計画を策定。名簿の提供に同意しない避難行動要支援者数は、163人。迅速な避難支援につながるよう働き掛ける。

今後、町と関係者とが協議する場を設けることにより、実行性のある個別避難計画の策定に努めていく。

池田 幸子
議員

不登校者の放課後等デイサービスの利用支援は

必要性が認められたら支援に繋げている

問 不登校児童生徒が放課後等デイサービスを利用できる等、福祉分野での支援を受けられる可能性も教育現場で周知されるべきでは。

答 放課後等デイサービスは、単に不登校だけでは利用できないが、障がいがあったり、医師から療育の必要性が認められたりした子どもは、学校やスクールソーシャルワーカー等から事業所の情報を保護者に提供する。利用を希望する場合には町保健福祉部局と連携し支援に繋げている。

しかし、教職員間の中で共通認識が十分でなく情報が伝わらない場合も考えられることから、より一層周知・啓発に努める。

子どもたちも保護者も先生たちも健やかに過ごせるよう、支援の充実を。

消防団員に 聞きました

第8分団の消防団員さんたちに、
活動や町のことなどについて聞いてみました。

(令和6年5月取材)



第8分団
大野副分団長



第8分団
関谷分団長



第8分団
白樫班長



◎自身の仕事の繁忙期と消防の行事が重なることが多く、時間や日程の調整がとても大変

◎仕事をしなから活動の時間をつくることが大変

◎団員の勧誘

「ご苦労や悩みは

◎消防団として地域の行事などに参加する機会があること

◎活動や訓練などに参加した団員のスキルが上がっているのを感じたとき

◎訓練が活かされ、地域の方から感謝されたとき

◎普段身に付けてきたノウハウが活かされたとき

◎訓練が活かされ、地域の方から感謝されたとき

◎普段身に付けてきたノウハウが活かされたとき

◎訓練が活かされ、地域の方から感謝されたとき

◎普段身に付けてきたノウハウが活かされたとき

◎訓練が活かされ、地域の方から感謝されたとき

◎普段身に付けてきたノウハウが活かされたとき

◎訓練が活かされ、地域の方から感謝されたとき

◎普段身に付けてきたノウハウが活かされたとき

◎訓練が活かされ、地域の方から感謝されたとき

◎普段身に付けてきたノウハウが活かされたとき

やりがい



松前町の問題点は

◎自主防災にもっと力を入れてほしい

◎地元で育った若い人が町外へ流出しているため、団員の確保が難しい

◎子どもの頃から消防団を近くで見ているがゆえに入団しない

松前町のよいところは

◎松前町の面積は広くはないけれど、松前、北伊予、岡田の三つの地域が良い意味で張り合っていて、それぞれに向上心がある

◎平地が多くウォーキングや散歩がしやすい

◎水が豊富



議会に望むことは

◎いざ火災になったときに、消防団員に出動の通知方法を確立してほしい（今は各々が防災無線を聴いて判断するか、消防署のホームページを見てから知るしかない）

◎詰所の光熱費などが負担しているが町で負担してもらえない要望してほしい

『町民の声』をお寄せ下さい

次号議会だよりの掲載の締切りは8月末です。
300字程度で必ず名前・住所・連絡先・
ペンネーム(希望する場合)をお書きください。
(投書多数の場合は、広報委員会で決定)

【宛先】〒791-3192 松前町筒井631
議会広報常任委員会「町民の声」係
◆Fax 985-4148◆

メールは、町のホームページからタイトルに「町民の声」
と入力の上「議会事務局」へお送りください。

町民の声

ありがとう、松前町

北伊予 吉田 健太郎

ひよんなことから「町民の声」
に寄稿する機会をいただきました。
「松前町民三年目」このような若
輩者で良いのか?という不安もあ
りました。機会をいただいた以
上は思っています。

松前町長、松前町議会その他日
頃より松前町のために尽力いただ
いている方々、本当にありがとう

うございます。

昨年の選挙に関わらせていただき
「この人ならば」と思った方を送り
出すことができました。信じて送り
出した以上は任せ、私自身この町の
ため社業を成功させ、家族を幸せに
できるよう奮闘しております。

町が明るくなっているように感じ
るのは、信じて送り出した人がそこ
で頑張ってくれているからだと思い
ます。

皆さんには松前町政の場に松前町
のことを信じて任せられる方はいま
すでしょうか?

【次回定例会の予定】

9月3日(火)～25日(水)

一般
質問

9月9日(月)

インターネット
配信やっています



松前町子ども議会を 開催します

町内小学5年生から中学2年生
の、子ども議員が決まりました。

子ども議員は、身近で問題と感
じていることや、松前町の将来に
ついて、議場で町長に質問(提
案)します。つまり、子ども議員
として一般質問をするということ
です。



8月9日(金) 9時30分から子
ども議会の本会議(一般質問)を
開催します。

当日は、子ども議会を傍聴する
ことができます。

町民の皆さん、ぜひお越しくだ
さい。ただし、傍聴席(定員40
人)は保護者優先のため、定員を
超える場合は、先着順とさせてい
ただきます。

編集後記

議会報告会における町民の皆さ
んからの意見に対する、町長から
の回答が届きました。

限られた予算の中、また様々な
意見が寄せられる中で一つひとつ
に伝えていくというのは大変なこ
とだと思っています。

我々議員も、今以上に真摯に町
民に向き合い、声を聞き、その声
を議会や行政に届けていきたいと
強く感じました。

(重松 知之)

議会広報常任委員会

委員長	曾我部秀司
副委員長	池田 幸子
委員	影岡 俊範
委員	城村トキ子
委員	渡部 恵美
委員	池内 邦仁
委員	重松 知之

